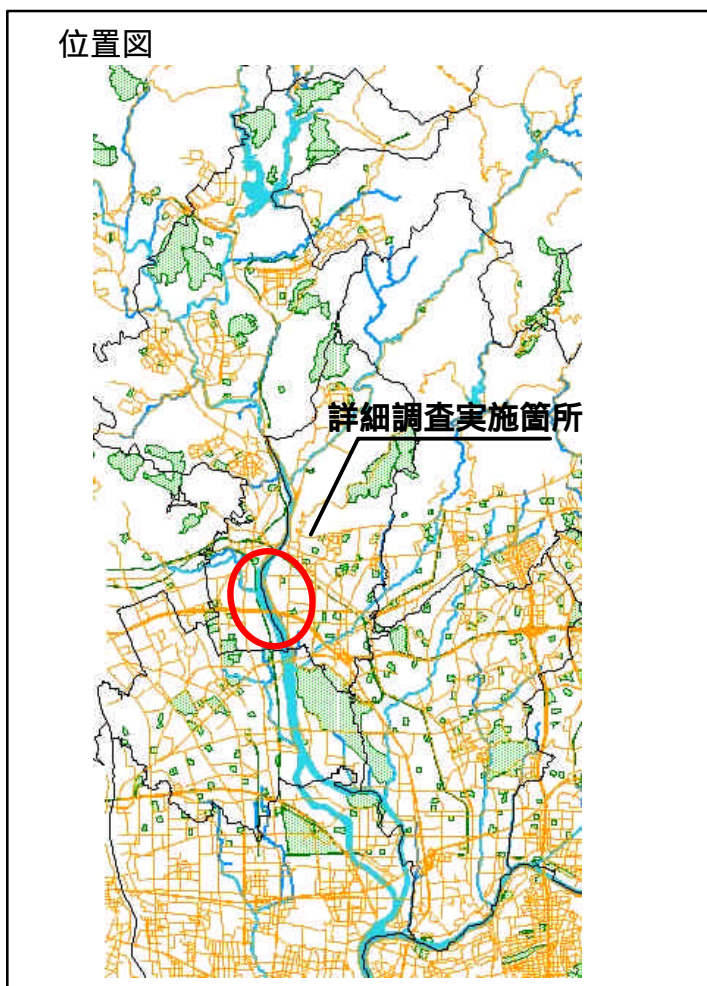


説明資料(第2稿)での記載箇所		章項目	5.3.1	ページ	p.39	行	4行目
事業名	堤防補強		河川名	猪名川			
府 県	大阪府	市町村	池田市	地先	神田		

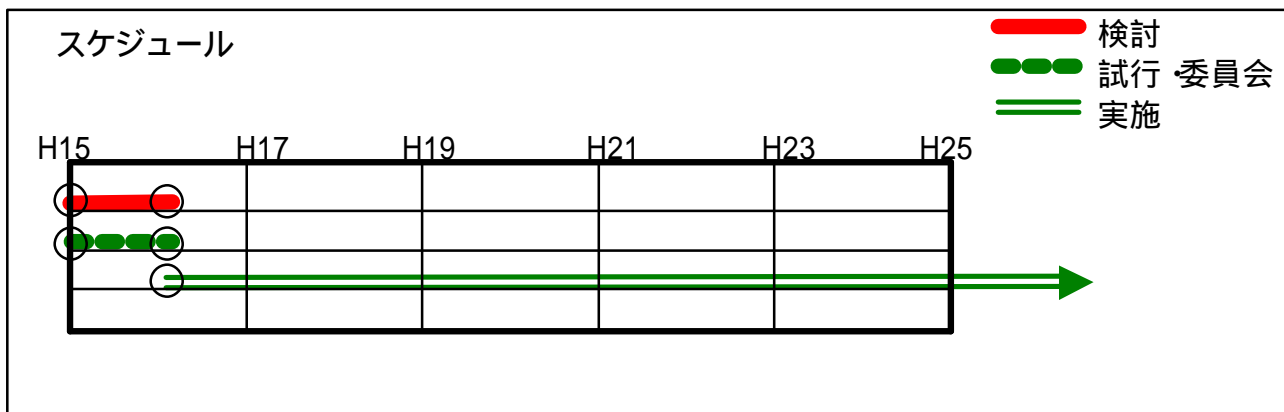
現状の課題
 現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有していない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等も破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。

河川整備の方針
堤防補強
 高規格堤防整備区間及び緊急な対策が必要な区間において堤防補強を実施する。併せて対策効果のモニタリングを実施する。実施の優先度は、破堤したときの背後地への被害影響、堤防危険度を考慮して、緊急堤防補強区間を選定し優先的に実施。



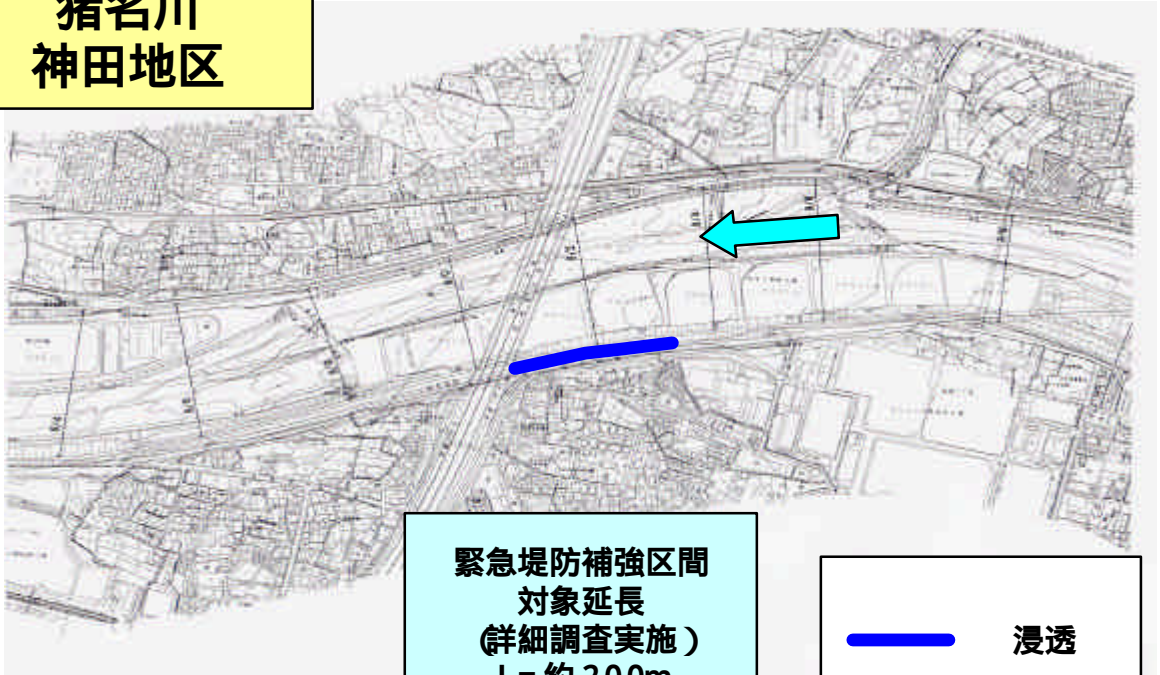
具体的な整備内容
 緊急堤防補強区間対象延長
 (詳細調査実施) L=約200m

事業の数量・緒元等
 浸透対策 L=約200m



平面図

猪名川
神田地区

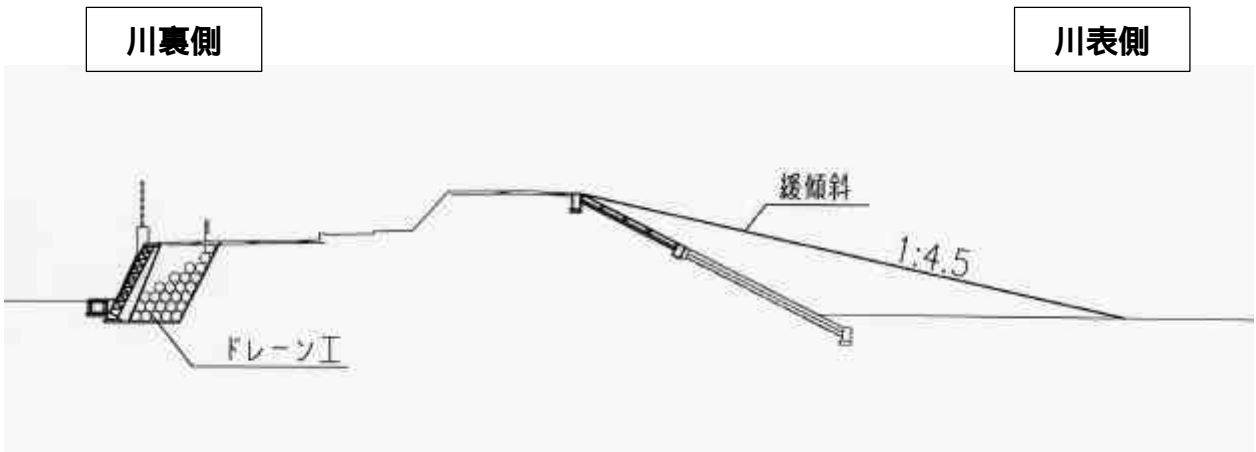


緊急堤防補強区間
対象延長
(詳細調査実施)
L=約200m

— 浸透

横断図

< 堤防補強の一例 >

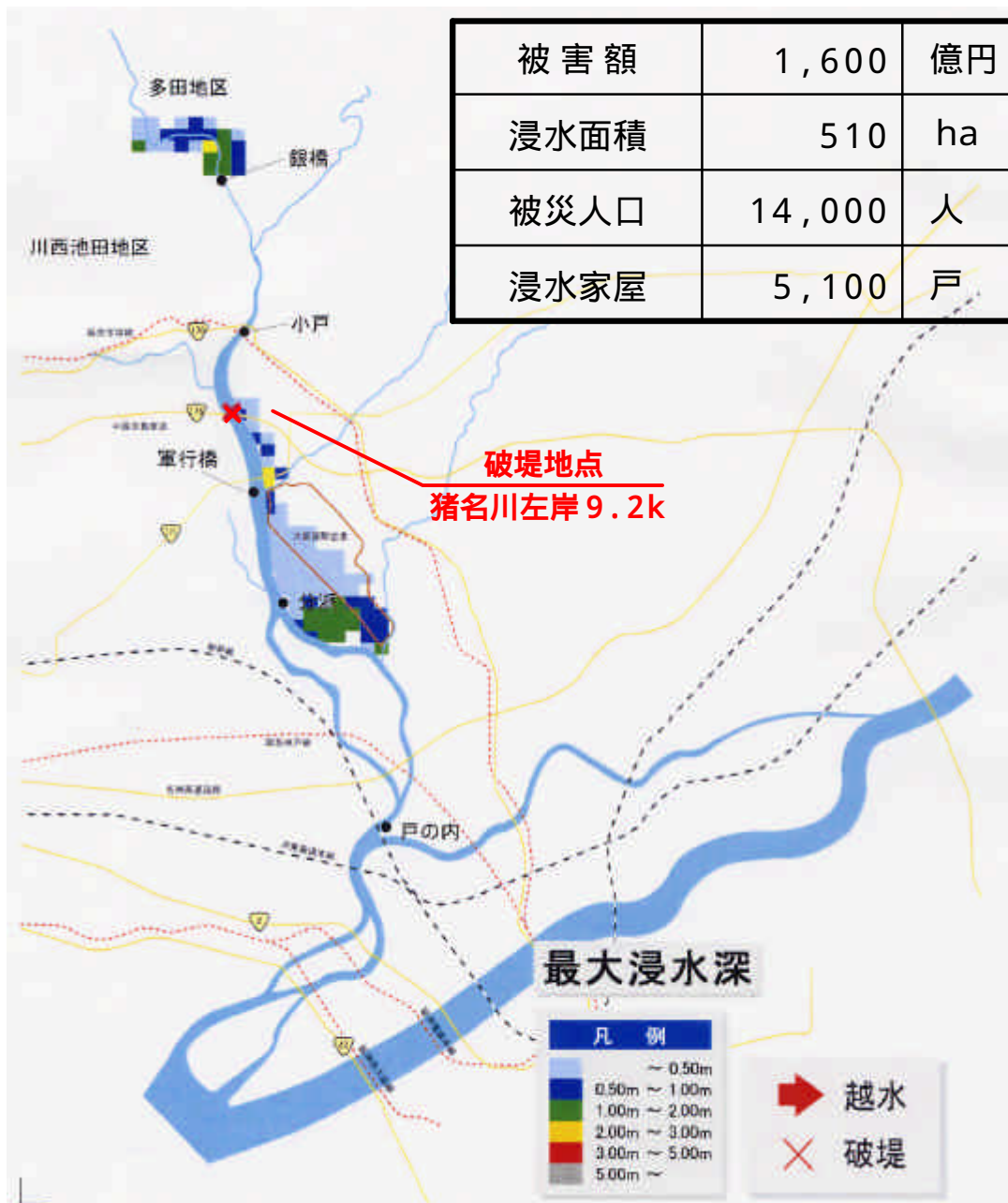


実施にあたっては「淀川堤防強化検討委員会」にて早急に検討する。

整備効果

堤防補強により 破堤による洪水被害の回避 軽減を図る。

【既往最大洪水(S35.8)が起こった場合】



提案理由

現況



現地



(猪名川左岸9.2km付近)

説明資料(第2稿)での記載箇所		章項目	5.3.1	ページ	p.39	行	4行目
事業名	堤防補強		河川名	猪名川			
府県	兵庫県	市町村	尼崎市		地先	高田・小中島	

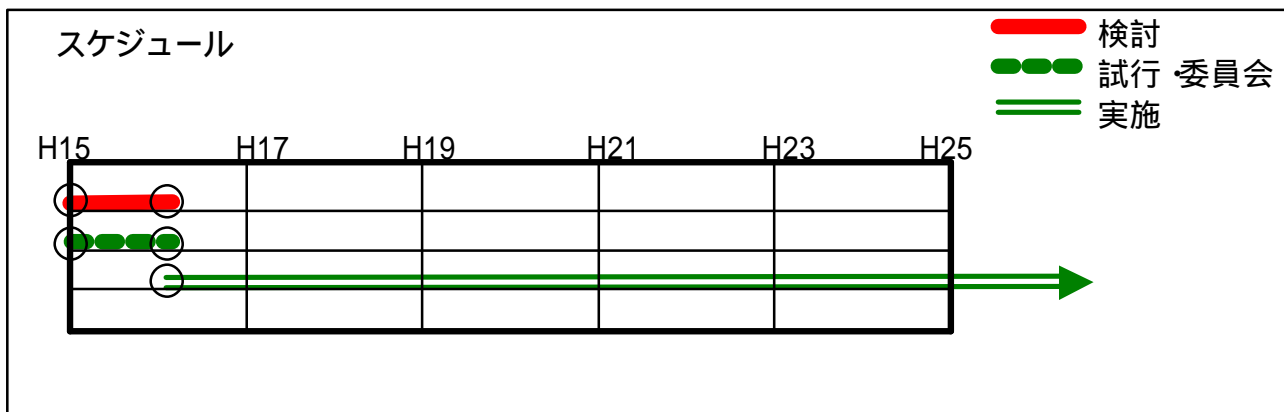
現状の課題
 現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有していない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等も破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。

河川整備の方針
 堤防補強
 高規格堤防整備区間及び緊急な対策が必要な区間において堤防補強を実施する。併せて対策効果のモニタリングを実施する。実施の優先度は、破堤したときの背後地への被害影響、堤防危険度を考慮して、緊急堤防補強区間を選定し優先的に実施。



具体的な整備内容
 緊急堤防補強区間対象延長
 (詳細調査実施) L=約900m

事業の数量・緒元等
 浸透対策 L=約900m



平面図

**藻川
高田・小中島地区**



緊急堤防補強区間
対象延長
(詳細調査実施)
L=約900m

— 浸透

横断図

< 堤防補強の一例 >

川表側

川裏側



実施にあたっては「淀川堤防強化検討委員会」にて早急に検討する。

整備効果

堤防補強により 破堤による洪水被害の回避 軽減を図る。

【既往最大洪水(S35.8)が起こった場合】

被害額	5,000	億円
浸水面積	1,100	ha
被災人口	114	千人
浸水家屋	45,000	戸



提案理由

現況



現地

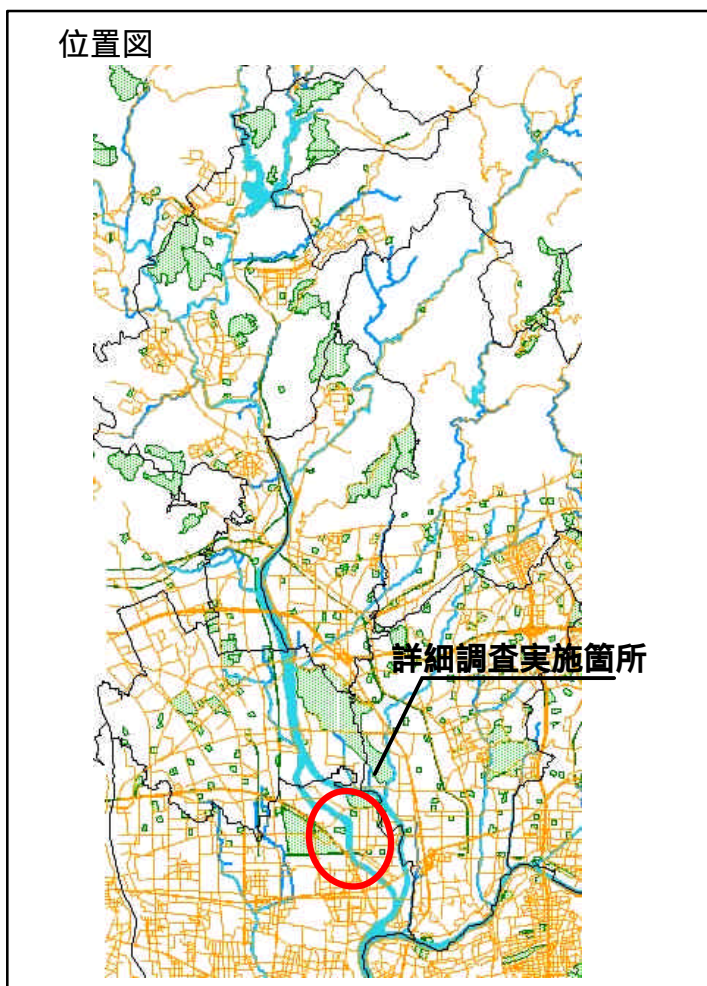


(藻川右岸1.2km付近)

説明資料(第2稿)での記載箇所		章項目	5.3.1	ページ	p.39	行	4行目
事業名	堤防補強		河川名	猪名川			
府県	兵庫県	市町村	尼崎市		地先	東園田町・中食満	

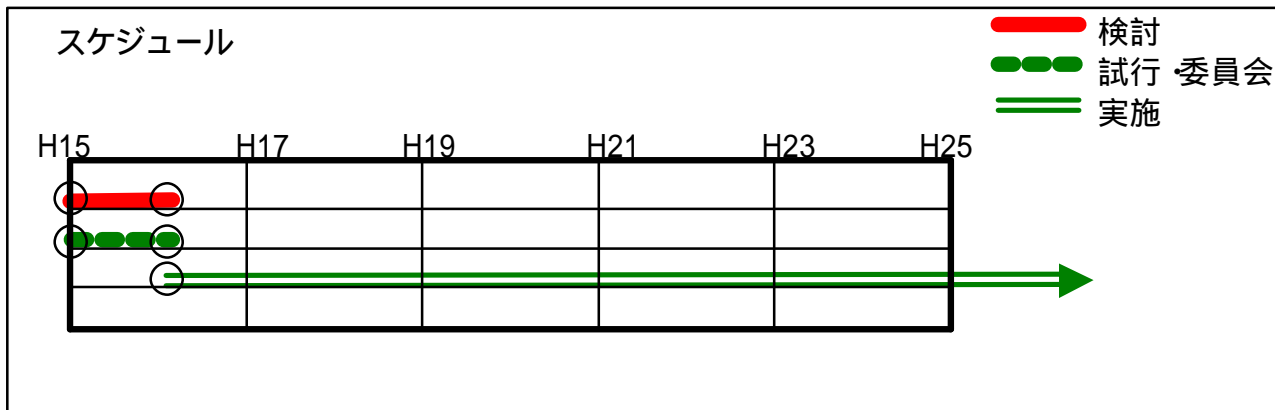
現状の課題
 現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有していない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等も破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることになる。

河川整備の方針
 堤防補強
 高規格堤防整備区間及び緊急な対策が必要な区間において堤防補強を実施する。併せて対策効果のモニタリングを実施する。実施の優先度は、破堤したときの背後地への被害影響、堤防危険度を考慮して、緊急堤防補強区間を選定し優先的に実施。



具体的な整備内容
 緊急堤防補強区間対象延長
 (詳細調査実施) L=約1000m

事業の数量・緒元等
 浸透対策 L=約1000m

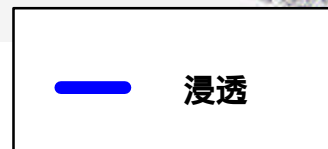


平面図

**藻川
東園田町 中食満地区**



緊急堤防補強区間
対象延長
(詳細調査実施)
L=約1000m

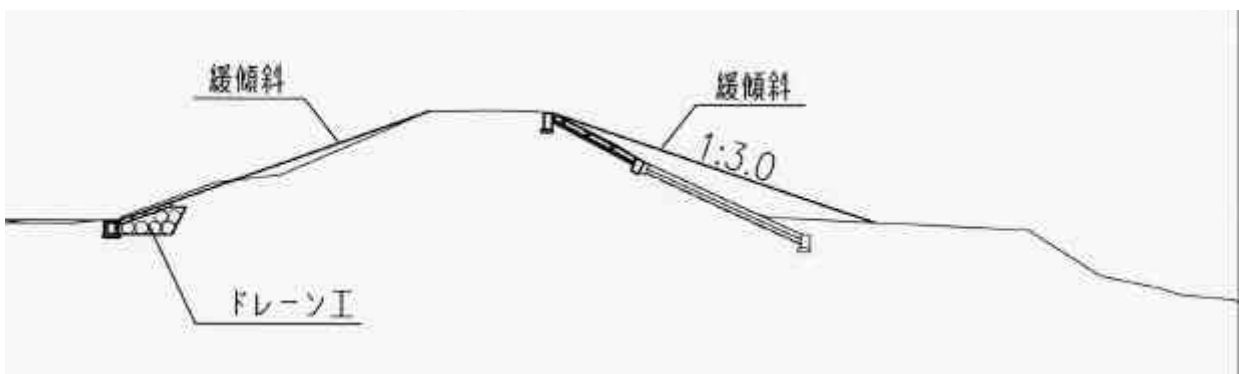


横断図

< 堤防補強の一例 >

川裏側

川表側



実施にあたっては「淀川堤防強化検討委員会」にて早急に検討する。

整備効果

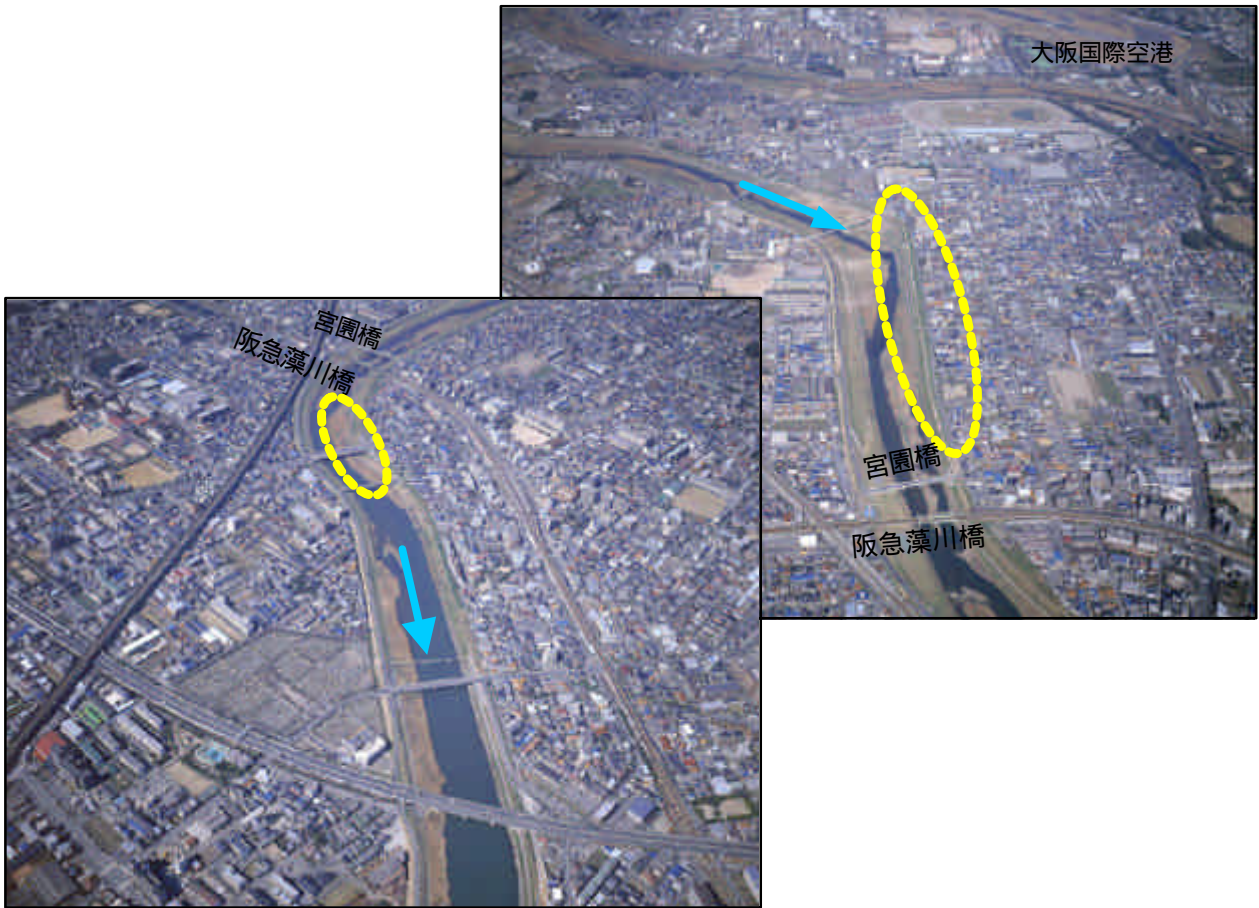
堤防補強により 破堤による洪水被害の回避 軽減を図る。

【既往最大洪水(S35.8)が起こった場合】



提案理由

現況



現地



(藻川左岸2.4km付近)